

自民党三重県連・自民みらい・鷹山 政策提言

実感をその手に！



日本を、取り戻す。

平成25年12月

自由民主党三重県支部連合会

三重県議会 自民みらい・鷹山

平成 26 年度 知事への政策提言

自民党三重県連・三重県議会 自民みらい・鷹山 会派

平成 25 年 12 月

国政では参議院通常選挙が行われ、「日本を取り戻す」を合言葉に、ねじれが解消しわが党に対する国民の大きな期待が寄せられました。そして、景気経済対策でありますいわゆる「アベノミクス」の真価が問われています。

わが政党・会派の基本理念の原点は「地域」であります。地域こそが保守の原点であります。住民一人ひとりの自助・自立の精神に変革の種を見出し、政治の場において議論を重ね、愛する郷土に絆と繁栄の花を咲かせることこそが、我々自民党・会派に課せられた最大の使命でもあります。

そして、三重県におきましては、少子化対策、グローバル化への対応、ブランド力アップを政策方針に掲げました。その上で、健全財政による活力ある県政運営や雇用経済の対策、災害に強いまちづくり、福祉の充実、教育レベルの向上など魅力ある施策が重要と考えます。

そこで、平成 26 年度予算編成に当たっては、下記の点を十分勘案し、様々な取り組みを積極的に行うことを要望します。

○重点政策

1. 国において「少子化危機突破」の取り組みが推進されるなか、三重県の将来を見据えた、安定的・持続可能な社会保障の確立に資する「若者の定住・定着支援や子ども子育て支援」など若者・少子化対策。
2. 三重県の地域経済を支える観点からも、雇用の確保、中小企業の支援、グローバル化への対応とともに、強く儲かる農林水産業の育成政策。
3. 県民の安全安心を守る防災・減災対策を構築し、社会資本の充実や真に必要な道路整備などの公共投資の拡大政策。
4. 医師・看護師確保をはじめとする救急医療などの地域医療の確立や、障がい者福祉・介護福祉の充実など、だれもが安心して暮らせる医療・福祉政策。
5. 教育の充実なくして将来の三重県の活力は生まれません。わが県を全国に誇れる教育県にし、優れた人材を育てる政策。
6. 熊野古道 10 周年記念などを契機に、さらなる三重のブランド力アップに取り組み、魅力ある観光振興や国際交流を推し進めるとともに、元気を発信するスポーツ振興政策。

◎政策提言

① 若者・少子化対策

若い世代が住んで、働いて、結婚ができ、子どもを持つことができるという、若者が将来に希望が持てる基本的な社会の構築が危ぶまれている。

そこで、さまざまな事情により結婚や子どもを持つことについて希望がかなわない現実を打破するための、若者の定住・定着支援、子ども子育て支援が求められている。

- 若者定住・定着支援
- ライフプラン教育の推進や婚活支援
- 子ども子育て支援
- 特定不妊治療費助成事業の拡大
- 妊婦健診の公費助成の拡大
- 多子家庭への保育料、幼稚園費の軽減

② 雇用の確保と中小企業の振興

緊急経済対策の実施により、経済の再生に取り組んでいるものの、雇用環境全体は未だ厳しい状況である。

また、本格的な高齢社会にあって、高齢者が自ら培った知識や経験などを生かし、元気に働くことによって医療・介護をはじめ社会保障にかかる財政負担を軽減するためにも、雇用の確保、低迷する障がい者の雇用率の拡大が求められている。

さらに、地域経済を支える県内中小企業への金融支援、下請け取引の適正化、女性力の発揮、人材育成・求職者とのマッチング等の促進などが求められている。

- 雇用機会の創出と定着に向けた取組
- 若年層、高齢者、障がい者の雇用拡大
- 女性の就労支援や登用
- 中小企業振興条例の制定による小規模事業所への支援
- シルバー人材センターへの支援

③ 儲かる農林水産業の実現

コメの「生産調整」や「経営所得安定対策」の見直しなど新たな農業政策の検討を巡る情勢となっている。なかでもTPP交渉について、特に農林水産分野の**聖域**(死活的利益)の**確保**が最重要課題である。

結果として日本の国益が守られ、食料の安全保障、食糧自給率の向上、後継者対策など持続可能な経営対策が求められている。そして、県産物の販路拡大、地産地消、農林水産業基盤の維持管理対策などが重要と考える。

- 儲かる農林水産業への支援
- 販路拡大、高付加価値、ブランド力の向上など農畜産業成長への支援
- 土地改良施設維持管理の推進
- 荒廃化茶園対策
- 治山事業の推進
- 魚価向上対策と燃油高騰対策
- 栽培漁業及び魚場環境保全対策
- 鳥獣害対策の推進

④ 公共投資の拡大と着実な道路整備の推進

いつ発生してもおかしくないとされている南海トラフ巨大地震へのさらなる**防災・減災対策**が求められている。堤防、橋梁、公共建築物や民間住宅の耐震性確保は急務であり、不特定多数が利用する建築物の耐震診断・耐震改修が求められている。

また、近年頻発するゲリラ豪雨などの自然災害に対応するため、ダム建設の推進、河川改修の整備やその**維持管理**にも一層力を入れる必要がある。

さらに、北勢バイパス、中勢バイパス（鈴鹿工区）、松阪・多気バイパス、東海環状などの**重要路線の整備**は大きく遅滞している。

そして、東紀州地域の活性化と「命の道」という観点から、また、いわゆるミッシングリンクの解消を図る観点からも紀勢自動車道の早期完成が求められている。

また、伊賀地域の振興に重要な国道 368 号の 4 車線化など、県内の遅れている地域の生活幹線**道路整備**や安全対策に係る**道路改良**や**維持管理**にも一層力を入れる必要がある。

- 不特定多数が利用する大規模建築物の耐震診断・耐震改修への支援
- 県有施設の耐震改修や老朽改修の推進
- ダム建設をはじめ河川改修の整備、河川堆積土砂の撤去の推進
- 高速道路など幹線道路整備の推進
- リニア中央新幹線の東京大阪間の全線同時開業への働きかけ
- 四日市港の港湾機能の強化
- 交通安全対策に係る機器整備推進、道路改良並びに維持管理
- 地籍調査の推進
- 公共施設への LED 照明の導入促進
- 公共工事等地元企業への発注
- 入札制度の更なる改善

⑤ 観光・物産の振興

首都圏営業拠点「三重テラス」での積極的な情報発信や誘客刺激政策とともに、平成のおかげ年であることや、熊野古道 10 周年記念を契機にさらなる「**ブランドカアップ**」に取り組み、インバウンド観光の推進や、観光産業の強化並びに物産振興を推進することが求められている。

- 伊勢神宮への「おかげ参り」や熊野古道 10 周年記念に向けた観光政策の推進
- 台湾及びタイなどの東南アジアやブラジルなどを対象に海外誘客の取組みの拡大
- スポーツツーリズム、エコツーリズムの推進
- 首都圏・関西圏において、誘客や県産品の販路拡大
- 「忍者・海女キャンペーン」の国内外での展開

⑥ 福祉・医療の充実

待機者が増えている介護施設の整備や、医師・看護師不足による地域医療・救急医療の充実が求められている。

- 老人福祉施設や知的障がい者福祉施設等の整備推進、運営支援
- 医師・看護師の不足や偏在の解消
- 「地域医療支援センター」の活用による若手医師の県内定着の推進
- 在宅医療、在宅介護の充実
- 看護師等養成施設への支援
- 災害時歯科保健医療体制の整備支援
- 歯科技工士就学資金貸与制度、同技術安全研修事業への支援
- 全国障害者スポーツ大会と国民体育大会との一体化への運営改善
- 放課後児童クラブ運営にかかる支援拡充

⑦ 教育の推進

学力の向上と規範意識を身につける道徳教育や体力向上のための教育が求められている。また、公立学校に比べ、私立学校の教育費に対する公費支出が低い状態である。

- 全国学力学習状況調査の結果の積極的な活用と情報公開
- 基礎学力・体力の向上
- 郷土を愛する心や道徳心を養う教育の推進
- 私学助成制度の拡充
- キャリア教育の推進

⑧ その他

- 新エネルギー対策に関わるメタンハイドレートに対する取組みの推進
- 動物愛護管理センターの施設整備と大災害時のペット保護対策
- 指定管理者に対する労働条件審査制度の導入
- 三重国体開催にかかる市町との連携と施設整備への財政支援